

市民ワークショップ実施報告書

Ⅰ. 開催概要

(1) 名称

「令和6年度 富谷市の未来について考える市民ワークショップ」

(2) 開催目的

市民の方々に、今後の富谷市のあるべき姿等について自由に話し合ってもらい、第2次富谷市総合計画の基本構想及び基本計画の策定の基礎資料とするもの。

(3) 開催日時

第1回：令和6年12月21日（土）13：00～15：00

第2回：令和7年1月11日（土）13：00～15：00

第3回：令和7年2月9日（日）13：00～15：00

(4) 開催場所

第1回：富谷市役所3階 302、303、304会議室

第2回：東向陽台公民館2階 第3研修室

第3回：東向陽台公民館2階 第3研修室

(5) 参加者

富谷市が公募で募集した20～80歳代の富谷市民と富谷高校の高校生の方々 計33名

【年代別人数】

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	計
8名	3名	2名	4名	6名	7名	1名	2名	33名

(6) 各回の参加人数

第1回：27人

第2回：28人

第3回：27人

(7) ファシリテーター

宮城大学事業構想学群

石内鉄平 准教授（全回）

宮崎義久 准教授（第2回）

齊藤祐輔 助教（第1回、第3回）

学生9名（全回）

(8) グループワークの方法

参加者を4、5人程度のグループに分け、各グループで議論しあいながら作業を行った。

第2回目からは各グループに予めテーマを設定し、そのテーマについてグループワークを実施。

2. 実施内容

(1) 第1回

産業・観光や住環境、子育てなど6つのテーマごとに「悩んでいること・課題等」「このまま続けて欲しいこと等」「感じていること、希望等」についての意見・考えを各自付箋に記入し、グループごとにディスカッションを実施、最後にグループ発表を行った。

各グループからは、「他地域から人を呼び込める目玉がほしい」や「公共交通の便を良くするために、デマンド交通の拡充やライドシェア特区の活用を検討する必要がある」など、数多くの意見が出された。



(2) 第2回

6つのテーマを各グループの議論テーマとして割り当て、第1回ワークショップで出された「悩んでいること・課題等」の具体的な内容について各自付箋に記入し、グループごとにディスカッション実施、最後にグループ発表を行った。

各グループでより具体的な課題への対応策などが議論され、子育て分野では、多様の世代との交流確保という課題に対し、高齢者と幼児が触れ合える機会をつくるなどの意見が出された。



(3) 第3回

グループごとに設定された6つのテーマについて、富谷市の将来ビジョン「住みたくなるまち日本一～100年間ひとが増え続けるまち～」を念頭に置きながら、第1回ワークショップで議論した「このまま続けて欲しいこと等」「感じていること、希望等」の具体的な内容について各自付箋に記入し、グループごとにディスカッションを実施、最後にグループ発表を行った。

住環境分野では、ほどよい田舎感を残すことが重要であり、沿道に花畑を整備することで蜜源となる花を増やし、養蜂活動を含めた里山づくりを推し進めてほしいなどの意見が出された。



3. グループワークで出された意見等

グループワークでは、6つのテーマごとに以下のような意見が出された。

① 活力と魅力があふれるまち

【産業】

- ・更なる起業支援（主に飲食店の開業支援、TOMI+、荷宿などの支援継続）
- ・農業振興（休耕地の有効活用、農産物（特産物）の生産）
- ・市内の大型商業施設の地域間格差解消
- ・R & D（リサーチ&デベロップメント）型など若者が働きたくなる企業の誘致（地元雇用の拡充）
- ・交通利便性の向上（工業団地を含めた環状線のロープウェイ整備）
- ・飲食店、娯楽施設の充実化
- ・地場産業の創出
- ・住宅地の活性化・商店街（特に旧市街地）の活性化 等

【観光】

- ・他地域から人を呼び込める目玉（道の駅、テーマパーク、ブランド、イベント、癒しの場、体験農業、グランピング施設、富ヶ岡公園の活用）の創出
- ・地域農産物のアピール（はちみつ、ブルーベリー、枝豆などの農業体験、牛タン人気店とのコラボ、給食メニューにする、高校での販売、ミツバチのキャラクター、みつばち踊り、富谷ハニーテラスの創設）
- ・既存の観光拠点（大亀山森林公園、とみやど）の更なる充実化（大亀山森林公園の冬場の活用）
- ・賑やかなイベント、祭り（スイーツフェアなど）の開催継続
- ・宿泊して楽しめるスポットの整備（宿泊施設の誘致も）
- ・市内地域間（特に南北間）の交流促進
- ・ボーリング場・映画館の維持
- ・新たな特産品の開発（枝豆など）
- ・コンサートができる音楽関連施設の整備、音楽イベントの開催
- ・富谷の「食」の造成 等

【歴史】

- ・富谷の貴重な歴史・伝統・文化財の研究・啓蒙（田植えおどり、ぽんぽこ祭の復活、御神輿の活用）
- ・富谷市の歴史を使った観光コンテンツの造成（富谷の文化財を見学できるツアーなど）
- ・富谷塾生の活用（意見交換会開催や歴史を活用した事業の公募など）
- ・ウーフジャパンの活用 等

② 快適で住みよいまち

【公共交通】

- ・公共交通の便の改善（バスの増便、車以外の交通手段整備、主要な商業施設を巡る巡回バスの創設、富谷北部の交通の便改善、市民バスの無償化、高齢者向けデマンドタクシーの増設、カーシェアの推進、バスの運賃補助、とみバス継続）
- ・泉中央までの移動手段整備（都市型ロープウェイ）
- ・ライドシェア特区の活用（ライドシェアスタートアップ企業の誘致）
- ・降雪時の対策が必要
- ・鉄道駅がほしい（鉄道のようなバス専用道を作る）
- ・地下鉄の快速

等

【道路】

- ・歩道の整備（街路樹・街灯整備、雑草の除草など）
- ・道路の整備（白線が薄い、定期的な道路補修、古い土地の道路整備）
- ・交通渋滞の解消・緩和（二車線化、一方通行化）
- ・自転車専用道路の整備（自転車が走り回る街とみや、サイクリング道路の整備）
- ・信号、標識、案内板の整備（とみやど等の観光施設）
- ・土地の造成
- ・高速道路のインターチェンジ拡充
- ・フードマラソン、フードサイクリングイベントの開催

等

【公園・上下水道・住環境】

- ・公園整備（緑が多い、遊具が多い、動物とふれあえる、スポーツが楽しめるなど、公園ごとに特色あるコンセプトを設定、駐車場整備、やすらぎパークの活用）
- ・大亀山森林公園の更なる活性化（産直など地元の野菜が買えるような大人も楽しめる公園、キャンプ場敷設、観光資源化、園内施設の修繕）
- ・休耕地や道路沿道等を花畑に整備（蜜源となる花を植える、大亀山森林公園へのアクセス路を花道にする、市民による花植え）
- ・ゴミ捨て場の整備（各公園へのごみ箱整備、ごみ捨て場のネットをカゴ化、立入禁止区域の清掃）
- ・倉庫の活用（プロジェクションマッピング、倉庫の壁を使ったアート、個性的な倉庫）
- ・公民館のトイレ整備
- ・ごみ拾い推進（ボランティア団体）
- ・ほどよい田舎感を残す（高い建物を作りすぎない）
- ・歩いて、走って楽しい道路の整備

等

③ 子どもと子育てにやさしいまち

【子育て】

- ・多様な世代との交流確保（子どもたちが幼児と触れ合える機会創出、レンタルおじいちゃんおばあちゃん＋赤ちゃん、幼児見守りおばあちゃん活用）
- ・子どもたちへの農業体験、食育の実施（就農支援との連携、食の循環を学ぶ）
- ・地域住民から学ぶことができる環境づくり（学校では学べない生活知識を学べる）
- ・相談しやすい環境づくり（親世代の交流機会創出、不登校の保護者支援のPR）
- ・子どもが自転車の練習ができる場所の整備（公園整備）
- ・ボランティアへの参加促進
- ・保育園、こども園、幼稚園の子ども園機能（春休みの預かりなど）の拡充
- ・時間と心のゆとりの確保
- ・子ども向け人気Youtuberの招聘
- ・よさこい祭りの開催
- ・子どもが安全に遊べる室内遊技場の整備 等

【学校教育】

- ・気軽に勉強できる場所の整備（大きな図書館の設置）
- ・富谷高校での給食実施、食堂復活（学食と給食センターの連携）
- ・外国語教育の拡充（ワンコイン英会話（NIYADO）の出前授業）
- ・通学環境の改善（通学時間帯のバスの増便）
- ・体験学習の充実（各種ワークショップへの参加など）
- ・不登校児童のための居場所整備
- ・学校と保護者の連携強化
- ・海外留学支援
- ・学校間の交流
- ・文房具を買いやすい環境づくり（コンビニ等での学割導入）
- ・給食費の無償化
- ・学校ボランティア
- ・タブレット支給
- ・リモート授業の促進
- ・子どもスタートアップ支援
- ・学芸員との富谷遺産巡りの開催 等

④ 誰もが生き生きと暮らせるまち

【健康・福祉・医療】

- ・高齢者、障害者の移動手段整備（とみばすのチャージ額引上げ、定期巡回や相乗り活用）
 - ・高齢化（独居老人）対策の拡充、介護福祉施設の充実、子どもと高齢者が交流できる場の整備）
 - ・病院（大規模病院、救急病院、24 時間対応の病院）の整備・誘致
 - ・障害者との交流環境の整備（障害の理解を深めることができる講座（手話講座など）の開催）
 - ・遠隔診療、薬の自動搬送の実施
 - ・医療費の無償化
 - ・認知症対策の拡充
- 等

【生涯学習】

- ・市民参加型のワークショップの継続開催（高い市民力を活かした地場産業創出）
 - ・勉強できる場所（図書館など）の整備
 - ・公民館の利活用促進（利用頻度が低い場所での勉強の場の提供、公民館に図書館整備）
 - ・ユースセンターの整備
 - ・リタイヤ後のシニアが活躍できる場の創出
 - ・地域のまちづくり協議会の設置
 - ・市民活動サポートセンターの設置
 - ・大学生の町内会運営参画
- 等

【スポーツ・芸術文化】

- ・全世代が交流できる機会の創出（体育館を利用したイベント、祭り、市民陸上競技会、市民スポーツ大会など）
 - ・文化センター（大ホールなど）、美術館、博物館の整備
 - ・運動ができる公園の拡充、総合型スポーツパーク（体育館など）の整備、富谷総合グラウンドの整備（夜間照明など）
 - ・年末「第九」を歌う機会創出（第九演奏で楽都富谷を目指す）
 - ・とみやマーチングエコーズの強化
 - ・市民参加型の美術展開催（市民の誰もが出品できる）
 - ・夏祭り、成田マルシェなどのイベント開催
 - ・コミュニティセンターのプール
 - ・防音の練習施設の整備
- 等

⑤ 安全安心で誰もが暮らしやすいまち

【防災・防犯】

- ・ 防犯カメラの適切な利用（ダミーのカメラでも有効、人通りの少ない通りへの防犯カメラの設置）
- ・ オレオレ詐欺対策の徹底（オレオレ詐欺対策用電話購入にかかる補助金周知、町内会単位で発注する）
- ・ 防災対策の啓蒙、防災訓練の充実（地域の防災訓練に小・中学生参加）
- ・ 町内会による見回り、ワンワンパトロールの継続
- ・ 安否確認シート布の一律化
- ・ 空き家対策の徹底
- ・ 地域住民同士の交流機会の創出
- ・ 避難所の整備、周知徹底
- ・ 防災予算の拡充
- ・ 住宅地におけるトラブル不安、火災不安解消 等

【交通安全】

- ・ 交通安全対策の徹底（交通整理ボランティアの増員）
- ・ 通学路の拡充（車の横断歩道前での一時停止徹底）
- ・ 信号機の増設（歩車分離の信号機設置）
- ・ 自転車用道路の整備
- ・ 富谷高校前の渋滞解消（バスの本数が課題）
- ・ ドライブレコーダーの設置義務化
- ・ ドライバーのモラル向上策 等

【人権・男女共同・多文化】

- ・ 外国人との交流機会の創出（小学校での英語授業における交流、地域の夏祭りなどでの留学生との交流、英語教師の増員、IT系企業の誘致）
- ・ 女性の活用、女性の起業促進（マイクロビジネスの推進）
- ・ 男女間格差の排除
- ・ 人権についての周知徹底 等

⑥ 未来へつなぐ環境にやさしいまち

【自然環境】

- ・自然景観の維持促進、自然保護の継続、森林破壊の抑止（太陽光発電の乱開発抑制、街路樹の整備、樹木の剪定、市街地の緑化促進、住宅街への花壇整備、自然を活かした街づくり）
- ・里山づくり促進（蜂蜜の販路拡大、養蜂活動の継続、みつばち学校の創設）
- ・ホタルが生息できる河川環境の整備（公園の水質管理への市民参加）
- ・自然を楽しむ施設の整備（カフェなど）
- ・野生動物（熊など）との共存共栄促進
- ・各家庭の庭の整備支援
- ・農業体験の拡充
- ・ミツバチやホタルへの関心を持たせる 等

【ゼロカーボン】

- ・ゼロカーボンにつながる行動の知識醸成（中学校や高校で関連授業の拡充、市民への啓蒙活動促進、環境活動の周知（例えば〇月×日は▲の日！）、ZEH住宅への補助）
- ・車の排気ガス抑制（渋滞解消、特に富谷高校前、将監トンネル手前、元西友付近、イオン付近）
- ・水素事業の継続、水素バスの活用
- ・自走式ロープウェイでCO2 排出削減
- ・太陽光発電による山林開拓
- ・LED化推進のための補助金
- ・電気自動車の普及促進 等

【環境衛生】

- ・ゴミステーション管理の充実（網ではなくシャッター付のゴミステーション、アパートのゴミステーションの独立化）
- ・ごみ削減の意識徹底・醸成（子どもへの教育徹底、吸い殻ポイ捨て禁止の徹底、食べ残し削減）
- ・生ごみ処理機導入への補助金
- ・公園整備（公園などのごみ箱整備）
- ・SDGs の取組継続 等